

## 第1回学長と学生・若手教職員との対談

- 1 日 時 平成25年8月5日(月) 15:35~17:10
- 2 場 所 本部棟6階 第二会議室
- 3 出席者 森田学長、許理事(企画・総務担当)  
学部生13名(文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、歯学部、薬学部、工学部、環境理工学部、農学部、マッチングプログラムコースの学生各1名)

### 4 対談要約

許理事 森田学長は、学生や若手教職員の皆さんの生の声を聞いて、今後の大学運営に生かしていきたいという考えをお持ちである。学生の皆さんとフリーに意見交換をする場にしたいので、硬くならず、大学への希望や日々感じていることなど、何でも自由に話してほしい。

森田学長 学生は、岡山大学でもっとも多い構成員であり、皆さんの意見を聞く機会を持ちたいと思っていた。岡山大学をよい大学にしたいと思っている。本日は、皆さんの意見を聞くことを楽しみにしている。

(学生から、自己紹介を兼ねて、大学の良いこと・困っていることなどについて発言。)

学生 学部の授業は、学年やコースに関係なく授業を履修することができるので、十人十色の時間割の組み方ができるのがよいところである。困っていることは、学生の自転車の交通マナーが悪いので、改善されればよいと思う。

学生 サークル活動で教育学部の体育館を利用しているが、体育館の老朽化が激しく、用具も古くなっているものがあるので、新しい用具が入ってきたらよいと思う。

許理事 体育館がどれだけ古いのか確認して、今後どのようにするか考えたい。

学生 岡山大学の素晴らしいところは、授業料免除が手厚いことである。常に学ばせていただいていることを意識して勉強に取り組むことができ、いろいろな活動にモチベーションが維持できて、よい循環ができていると思う。困っていることは、図書館の改修工事で自習スペースが限られているので、工事の間に一般教育棟を自習スペースで開放するなどの処置をしてほしい。また、土日や夏休みなどの図書館の開館時間が短い、休みの日こそ、しっかり勉強したいので、開館時間の延長を検討してほしい。

許理事 自習スペースとして一般教育棟を開放することについては積極的に検討したい。また、図書館の開館時間の延長について、意欲に溢れた熱心な学生のためにも、どこまで工夫ができるか検討したい。

学生 スポーツを通じた地域振興として、地域総合研究センター(AGORA)の学生企画プロジェクトに応募した。まちづくりを通じて、岡山に貢献したいと思っている。AGORAは、地域振興のために様々な活動を行っているため、AGORAの活動を多く

の学生に知ってもらいたいと思う。

学生 岡山大学は、敷地が広くて、他の人が入って来やすい雰囲気があり、開放的なところがよい。教育開発センターの学生・教職員教育改善専門委員会に所属して、大学の教育改善活動に取り組んでいるが、シラバスのレイアウトが見にくかったり、ソート機能で絞りにくかったりするので、委員会活動を通して、大学に改善策を提案したが、シラバスのシステムへの対応が難しいなどの理由で、うまく取り上げてもらえなかったのが残念である。また、成績確認画面で教養科目の単位取得が足りているのか確認しにくいので、改善していただけると助かる。

許理事 シラバスの改善提案の件については、担当事務部に確認する。

学生 普段は座学や臨床実習の時間が多いが、3年生の時に、3ヶ月間だけ研究室に入って、実際に実験器具を使って、基礎医学を学ぶ期間があった。この期間は、臨床から離れて、教員から指示を受けるだけではなく、自分で考えながら研究を行うことができ、もともと研究に興味があったが、さらに研究に興味を湧いた。一方、生命倫理や道徳を学ぶ時間が少ないと思った。

学生 授業でも実習でもすごく大学病院との距離が近いので、技術の演習をする時には、実際に大学病院で働いている看護師の方から、筋肉注射のやり方を学んだり、実習で患者さんのところへ行って、座学では分からなかったいろいろなことを感じながら学ぶことができる。困っていることは、演習で使う器具が古くて、注射の練習をするのも手作りで、腕の模型が古かったり、揃っていないので、新しいものが揃っていれば嬉しい。また、授業アンケートは、アンケート内容が授業に反映されないことがあり、改善につながっていないので、意味がないと思う。評価のやり方が変わればいいかなと思う。1回ごとに講師が変わる授業でもアンケートが1枚であるため、この先生はいいけど、あの先生はちょっとよくないというときに、アンケート内容が伝わりにくい。

許理事 授業アンケートの件については、学科長か教務委員長に伝える。

学生 鹿田地区でも図書館は休館しているが、医学部基礎講義棟のパソコン室が開放され、24時間使うことができるので、勉強をするのによい環境が整っている。困っていることは、診療スペースと教室が同じ建物に入っていることで、授業の始まりと終わりの時間帯に、学生と患者が使う階段が一緒になることがあり、病院のスペースと勉強をするスペースを分けることができたらよい。また、歯学部はチーム医療になかなか携わられていない状況が続いているが、口の疾患が全身の疾患に繋がっていることがあり、全身疾患への対応が求められているので、学生の時から医学部との交流があればよい。

学生 岡山大学は総合大学なので、いろいろな授業が学べると思っていたが、学部の授業の多くが必修になっていて、自由に履修できなかった。その一方で、岡山オルガノンを活用して、他大学の授業を受けたりしている。不便なこととして、学部の研究室の4分の1が鹿田地区、4分の3が津島にあり、私は鹿田の研究室に所属しているが、研究と講義のため、津島と鹿田を行ったり来たりしている。また、事務室

への提出物は、窓口への提出が求められるので、移動が大変であり、学部の研究室の4分の1が鹿田地区にあるわりには、鹿田地区で学ぶ学生にあまり配慮されていないように感じる。

許理事 学生の不便さが分かった。何か工夫ができるか検討したい。

学生 学生がやりたいことを発揮できる場があるのがよい。工学部と経済学部の合同授業があり、他大学の人と意見交換をすることができて、視野が広がる。

学生 学部のパソコン室が24時間開放されていて、勉強をするのに便利である。他の学部にも、このような部屋が作られたら、みんな勉強をするのに助かるのではないかと思う。環境管理学科では、タイとの交換プログラムがあって、他の学科の人も参加できるようになれば、よい機会になると思う。

学生 学部の学生会に所属している。学生の意見をまとめて、学部の意見BOXに意見書を提出しているが、学生の意見を受け入れて、改善をしていただき感謝している。困っていることは、学部の設備が古くて悪いこと、駐輪場に屋根がないのは困るとの学部の学生の意見があった。

許理事 駐輪場に屋根がないのは困るという声があるのは承知している。どのようなやり方がよいのか、いろいろ検討しているところである。

学生 教員免許取得に対してのサポートが手厚く、3年生の途中から教職を志望したが、教員免許取得を目指すことができる。また、授業料免除制度が手厚いこと、MPコース独自の教室があり、一人一台のパソコンが設けられているのがよい。改善してほしいこととして、自転車通学をしている人のマナーが悪い。大学周辺だけではなく、駅から大学までの道でもマナーが悪いと思う。駐車場の数が不足している。また、授業を受ける態度が悪い学生がいて、私語などで授業が聞き取りにくいことがあり、そのあたりの管理や啓発をしていただきたい。

森田学長 みなさんの話を聞いて、岡山大学は11学部1コースを擁する総合大学であるそのよさを感じた。それぞれ学部が違くと、雰囲気が違う、多様性を感じた。また、学生のみなさんの発表する能力や意見を言う能力がしっかりしていることを実感した。

許理事 学生のみなさん一人ずつからお話しを伺った。続いて、せっかくの機会であるので、学長に聞きたいこと、言いたいことがあれば、話してほしい。

(学生から、学長に対する質問や要望を発言し、意見交換。)

学生 各学部で単位互換など留学の制度が異なっているので、統一してほしい。

森田学長 留学制度については、学部によって事情が違っていて、大きな障壁が存在している。少なくとも大学としては、手続を簡素化したり、国際センターに一元化するなど、各学部に通ずる問題をまず解決していきたいと考えている。また、学生の皆さんからも、何が障壁になっているのか意見があれば、教えてほしい。

許理事 単位互換は、特に外国の大学の場合、実際に行おうとすると同じような名称の科目でも内容が本当に互換性があるかどうか確認して、協定を結ぶ必要がある。学位は重いものであるので、きちんと手続を行う必要があり、簡単に対応できるものではないことはご理解いただきたい。

学生 副専攻コースの英語コースに所属している。今年からグローバル人材育成特別コースができたが、新しいコースの登場で、副専攻の英語コースが縮小するなど、自分達の学ぶ機会がなくなってしまうのか心配である。

森田学長 グローバル人材育成特別コースができたことによって、他のコースを縮小したり、簡素化したりという話は今のところない。

学生 大学は教育機関としての側面が重視されてきた一方で、研究機関としての側面もアップしていく必要があると思うが、そのような中で、岡山大学は、日本の中でどのような存在になっていくのか。

森田学長 岡山大学は、日本の中で12～14位の立ち位置である。大学としての存在価値を上げて、10位以内にしたいと思っている。また、岡山大学は東京大学と役割が一緒ではなく、いわゆる地方大学でもない。地域の中で存在感のある国際性を持った大学を目指したいと思っている。

学生 学生の教育のレベルアップとして、学生の教育環境としてハード面は充実しているが、ソフト面での教員のレベルアップとして、どのようなことを考えているのか。

森田学長 特任教授や寄附講座の設置などにより、教員の数を増やすことで、教育レベルを上げていきたい。

学生 1年間に履修できる単位の上限が厳しい。私の学部は全学部中ワーストの上限数である。いろいろな授業を履修することができないので、これを何とかしてほしい。

許理事 学部長に確認したい。

学生 岡山オルガノンでは、他大学の授業をビデオオンデマンドで学習することができる。岡山大学でも他学部の授業をビデオオンデマンドで学習できるようにしてほしい。

許理事 どのような対応が可能か、岡山オルガノンの学習システムを調べることにしたい。

許理事 そろそろ時間になったので、これで対談を終了したい。本日、学長もみなさんの顔と名前を覚えたと思うので、これ以降、学長に言いたいことがあれば、直接メールをお願いします。

森田学長 学生に接する機会は年1回の教養講義ぐらいであったが、今日、学生の生の意見を聞いて、勉強になった。今後も、岡山大学を発展させ、皆さんのためによりよい大学にしていきたい。本日はありがとうございました。